

病院からのお知らせ

外来医師担当表

診療受付時間 平 日 午前 8:45～11:30 午後1:00～3:00
土曜日 午前 8:45～11:00

	月	火	水	木	金	土
内 科	脇田教授	中野准教授	高橋講師	脇田教授	1) 交代制	2) 交代制
緩和ケア・外科	東口教授 ※第一月曜 伊藤教授	臼井教授	伊藤教授	都築医師	臼井教授	伊藤教授
リハビリテーション科	八木橋医師	岡本准教授	正木医師	水野講師	岡崎准教授	3) 交代制
歯 科	金森講師	関本医師	金森講師	金森講師	岡本医師	金森講師
ものわすれ外来 (予約制)	脇田教授 15:00～16:30 ※月1回 高橋講師		脇田教授 14:00～16:30		高橋講師 14:00～16:30 (再診のみ)	
セカンド オピニオン 外来	臼井教授 癌全般、消化器疾患、栄養疾患 15:00～16:00 ※予約制	脇田教授 認知症、神経疾患 15:00～16:00 ※予約制		園田教授 リハビリテーション ※予約制		

- 1) 内 科 金曜日は第1・3・5週:中野准教授、第2・4週:高橋講師が交代で診察します。午後は中野准教授が診察します。
2) 内 科 土曜日は脇田教授・中野准教授・高橋講師が交代で診察します。
3) リハビリテーション科 土曜日はリハビリテーション科医師が交代で診察します。

出前講演会・公開動画

こちらからアクセス！▶



■ 出前講演会 (Web開催)

疑問、不安に感じている病気や健康のさまざまな問題解決の一助となるよう、各分野の医療スタッフを講師として派遣しております。

現在、オンライン配信型での出前講演会を受け付けております。

詳細は、下記担当者までお問い合わせください。
e-mail: nanakuri@fujita-hu.ac.jp

■ 公開動画



嚥下調整食(溶けないアイス)



嚥下運動



柔軟性を上げる運動



■ 当院までのアクセス

公共交通機関
乗用車

- 名古屋・伊勢方面から
近鉄名古屋線 久居駅下車、バス榊原温泉口・榊原車庫前行(下村経由)に乗車。「七栗記念病院前」下車、徒歩5分 または、「七栗記念病院前」下車、徒歩1分
※「七栗記念病院前」のバス停については、停車しない時間帯があります。ご注意ください。
※バス乗車時間約20分、タクシー乗車時間約15分
- 大阪・京都方面から
近鉄大阪線榊原温泉口駅下車、タクシー乗車時間約15分
- 伊勢自動車道
久居インターチェンジより7km約10分



藤田医科大学 七栗記念病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY NANAKURI MEMORIAL HOSPITAL

編 集 藤田医科大学七栗記念病院広報委員会
発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大鳥町 424 番地 1
電 話 059-252-1555(代表)
F A X 059-252-1383
https://nanakuri.fujita-hu.ac.jp

患者さんと医療をつなぐ

広報誌

ななくり

Pick up

緩和ケアとリハビリテーションを在宅で
2020年4月 訪問事業部開始



病院長 園田 茂

コロナ感染症にて世の中が変えられ、そして新たな形での暮らしへと動きだしています。辛い思いをされている皆さんの気持ちがあしでも和らぐよう、私たちの果たすべき役割を工夫しながら全うしたいと思います。1987年から続けている緩和ケア、リハビリテーションの入院医療とともに、これらの専門性を活かした訪問医療・介護をきちんと行って参ります。どうぞご活用下さい。

訪問事業部 部長 中村 純子

この5ヶ月は事業の安定化と感染対策の格闘の日々でした。新型コロナウイルスの影響で施設に感染者・濃厚接触者が発生すれば活動は一時休止に。このようなケースが各地で散見されます。施設に通えなくなれば身体機能は簡単に悪化します。弱りたくない、という地域からの要請に応え、私たちは訪問リハビリ等を強化しています。コロナ禍の新しい生活様式。在宅医療は、今後更に拡大・進化されるべきだと考えます。

津中央地域包括支援センター センター長 中西 幸喜

新型コロナ感染症対応を心配するあまり、高齢者と支援機関や支援サービスとがつながりにくくなり、閉じこもりや熱中症になってしまうケースもでてきます。当地域包括支援センターは高齢者の生活を守るべく、医療・栄養面に詳しい保健師、サービスを提供する多職種の特徴を熟知した社会福祉士や主任介護支援専門員、介護支援専門員計5名で活動しています。まずは一声、地域包括支援センターにご相談ください。迅速に対応させていただきます。



「生きる力をチームで支える」在宅サービス

「病気や障がいがあっても自宅で暮らしたい」という声にお応えするために 自立生活に必要な看護・リハビリテーション・介護を提供します



特徴① 医療と連携し生きる力を支える訪問看護

訪問看護は看護師4人、副拠点である七栗記念病院には看護師2人を配置。24時間・緊急訪問にも対応。得意分野は七栗記念病院の看護実践をいかしたリハビリテーション・緩和ケア・認知症ケア・神経疾患など。その他人工呼吸器・麻薬管理・CVポートなどの医療処置、介護予防など、多岐にわたりご要望に応じてまいります。



■がん終末期を在宅で支える

「住み慣れた我が家で最後まで大切な家族と過ごしたい」思いを叶えるため、主治医との密な連携を行い24時間365日対応いたします。緩和ケア病棟で経験を積んだ看護師が訪問をいたします。



- 安らかな看取りへの支援
- ご家族、介護者への精神的支援
- 痛みや症状の緩和

ケースA 「短期間でいいから自宅で過ごしたい」

Aさんは緩和ケア病棟に入院されていましたが、1週間を目標に在宅に戻られました。訪問看護で麻薬・点滴等の処置と身体及び精神的ケアを毎日行いました。ご家族と医療スタッフが丸となり限られた時間ではありましたが、自宅で過ごしたい思いを叶えることができました。

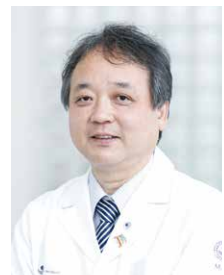


上野内科の訪問診療に同行し情報交換



七栗記念病院 外科・緩和医療学
教授 臼井正信

“すべては患者さんの笑顔のために”をスローガンに、最高の緩和ケアとNSTによる栄養管理を行い、皆さんに満足を提供します。



■回復期リハビリテーション病棟退院後の生活を支える

ケースB 「回復期リハビリから在宅生活へ、更なる自立を目指します。」

回復期リハビリテーション病棟退院時は経管栄養と併用の経口摂取、意思疎通や車椅子乗車が可能になり、近隣の訪問診療と訪問看護がバトンを引き継ぎました。

現在、ご家族の支援と多職種の連携で、生活リズムができ、更なる自立を目指しています。ご家族から「七栗さんを選んで良かった」とのお言葉。お世辞半分とわかっていてもやはり嬉しいものです。



特徴② 看護・リハビリ・介護・ケアマネジャーがチームで支える

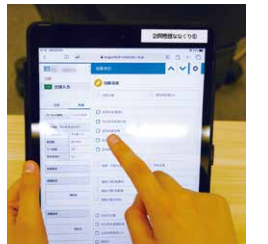
訪問事業部は訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護、居宅介護支援事業所があり連携してサービスを提供しております。幅広い生活の課題について対応するために、それぞれの専門性を活かした評価を行い、いつでも話し合える環境のもと、知識・技術の向上を図っております。



部内の看護・リハビリ・介護・
ケアマネジャーと情報交換



在宅にて訪問診療医・ご家族・ケアマネジャーと情報交換



一人一台のiPadで連携

訪問リハビリテーション

- 専門職の評価による身体機能、生活の見立て
- 実際の生活場面で行う動作練習や生活指導
- 介護負担軽減のための家族指導や環境調整
- 効果的で継続しやすい運動の実施、指導
- 入院中のリハビリとの連携によるスムーズな引き継ぎ
- 生活課題やニーズを他職種と共有し解決に向けて共同

訪問介護

- 異常を感知できる看護的視点を参考とした援助
- 利用者さんの身体能力が向上・維持できるようリハビリ要素を含めた身体介護と生活援助
- 医療的視点からの十分な感染管理
- ケアマネジャーとのシームレスな連携



特徴③ 七栗記念病院に基づいた新型コロナウイルス感染対策

当事業所では職員は七栗記念病院の基準に沿った感染対策を行っています。具体的には以下の通りです。

1. マスク着用（通勤時も含め）・手指消毒の徹底
2. 出勤前の体温測定及び記録の徹底
3. 時差出勤の推奨
4. 感染教育
5. 利用者さんに接するときのゴーグルもしくはアイシールド着用
6. 事業所内換気を1日2回実施
7. 宴会等の就業時間外行動の自粛
8. 七栗記念病院緊急対策本部の指針に従う



連絡先

〒514-0027 三重県津市大門6-5 大樹生命津ビル2階
藤田医科大学訪問看護ななくり [事業所番号 2460590355]
TEL:059-253-5152 FAX:059-253-5158
藤田医科大学訪問介護ななくり [事業所番号 2470505955] (予防) 24A0502807
TEL:059-253-5153 FAX:059-253-5158
藤田医科大学居宅介護支援ななくり [事業所番号 2470505930]
TEL:059-253-5157 FAX:059-253-5158

〒514-1257 三重県津市大島町423 職員宿舍ななくり201号室
藤田医科大学訪問看護ななくりサテライト

